

ボランティア交流会開催

日頃のボランティア活動に感謝

3月11日、本年度後期のボランティア交流会を開催しました。日頃よりお世話になっているボランティア様45名が参加されました。

田嶋所長の挨拶からはじまり、阿部相談員からボランティア活動報告の説明がありました。活動表彰では500時間の表彰状が舞美ボランティアの河野和子様に、300時間の感謝状がさいたまコープ藤の会の渡辺敬子様に、200時間の表彰状が桜樹会の金子幸枝様に、100時間の感謝状が栄町3丁目弥生の会様にそれぞれ贈られました。

また、内牧クリニック前川院長による医療講座「新しい健康制度」の講演を行いました。メタボリックシンドロームの話が出た時には、熱心にメモを取る方もいらっしゃいました。講演後に行われたケーキバイキングでは、カロリーを気にしながらも嬉しそうに、様々なスイーツを召しあがっていらっしゃいました。

彩光苑を支えて頂いているボランティア様に改めて感謝すると共に、今後とも地域との連携を大切にしていきたいと思います。



ケアハウスの行事紹介

桃の節句

2月13日、ケアハウスでは入居者様と雛人形の飾りつけを行いました。そして、3月3日は雛祭りお茶会を開催。桜餅・甘酒をおいしく頂きました。その後はゲームで盛り上がり、最後に雛人形の前で記念撮影。今年の雛祭りも大変楽しいものとなりました。



News「ケアハウス情報!!」

平成25年4月 介護付ケアハウス開設

一介護保険制度に基づき要支援・要介護者の方の入居も可能となりましたー

お問合せ 048-755-4522



近隣の公園「内牧公園」

理念

私たちは、地域の人々のために、共に手をつなぎ、一人ひとりを大切に、安心して暮らせるように「福祉・医療・保健」を連携させたサービスを提供します

－基本方針－

特別養護老人ホーム 彩光苑

- ・家族や地域の人々とともに、高齢者の尊厳を守りつつ寄り添うケアに努めます
- ・利用者のみなさまが、安全で安心して暮らせる環境を整えます

ケアハウス 彩光苑

- ・利用者のみなさまの声を大切に、いつまでも自立した生活が出来るよう支援します
- ・食事や入浴のサービスを通して、健康的な生活をささえます
- ・生涯にわたり、安心して生活を営むことができるサービスを提供します

内牧クリニック

- ・地域の人々の健康を願い、心のこもった医療を提供します
- ・誰もが気楽に集えるクリニックとして、健康相談を行います
- ・社会福祉法人のクリニックとして、生活困窮をかかえる方々の医療をささえます

彩光苑だより 第38号

ふれあい

発行 社会福祉法人 恩賜 財団 済生会

支部埼玉県済生会彩光苑
〒344-0051

春日部市内牧3149

発行者 所長 田嶋 襄

編集 広報委員会

発行日 平成25年4月25日

特別養護老人ホーム彩光苑 ・ ケアハウス彩光苑 ・ 内牧クリニック



(撮影)内牧公園

3月28日、ケアハウスでは春の暖かな日差しの中、隣接の内牧公園にてお花見会を行いました。例年より早く咲いた今年の桜は、ここ2、3日続いた雨にも負けず、青空の下輝いていました。「綺麗ねー」「今日は本当ににお花見日和だわ」と楽しげな会話が弾み、散歩で訪れていた近隣の方々とも声を掛け合い、触れ合う様子が見られました。またひとつ楽しい思い出が増えた一日でした。

topics

- 新年度の挨拶
- 特養グループ活動の報告
- ボランティア活動報告
- 豊春中央保育園お遊戯会

- ボランティア交流会
- ケアハウスの行事紹介
- 節分
- News『介護付ケアハウス開設』



CS標語 『情報は共有してこそ役をなす』



所長 田 鳶 襄

平成25年度行動計画骨子(済生会彩光苑の目標)

1. 顧客(利用者)の視点

- ・介護技術の推進（認知症における科学的ケアの推進）
- ・事故防止の徹底と検証（安心・安全な介護の提供）
- ・感染予防対策と計画的な準備と活動の強化徹底
- ・看取りケアの質の向上
- ・満足できる食事の提供
- ・ケアハウス及び特定施設サービスの速やかな提供

3. 財務の視点

- ・目標稼働の安定的確保
- ・稼働率向上の対策と実行
- ・収支状況の見える化(グラフ化)による経営状況の把握
- ・安定した運営資金の確保

2. 内部プロセスの視点

- ・苑内電子システムの推進(ペーパーレス化)
- ・コンプライアンスの徹底
- ・業務の標準化・効率化の推進

4. 学習と成長の視点

- ・人事制度に基づく人材育成の実行
- ・職員のスキルアップ支援(資格取得支援制度の確立)
- ・EPA候補者の支援並びにCS向上のための職員教育



映画鑑賞会



3月17日、1グループでは美空ひばりの「東京キッド」、3月27日には4グループ、チャップリンの「無声映画」の上映会を行い、おやつを食べながら楽しみました。どちらのグループも映画館のようにしたいという事で、安全に配慮しながらうす暗い状態で行いました。いつもと違う映画鑑賞に、皆様は集中され静かに観られていました。「たまには古い映画もいいなあ」とうれしい感想もいただきました。



分 節

鬼は外♪～ 福は内♪～

2月3日、節分の日に豆まきを行いました。当日は、職員2名が鬼の格好をして入居者様に豆を投げて頂きました。鬼の格好が怖かったのか「鬼は外、福は内」の掛け声を忘れて「来ないでー」「あっち行け」など、とても怖がっていました。中には本気で豆を当ててくる入居者様もいて、鬼はとても痛そうでした（笑）。その後は、豆を歳の数ほどは食べられませんが美味しく頂きました。

ボランティア活動報告

1月27日、幸松婦人会演芸慰問部（ボランティア）の皆様が来苑され演芸鑑賞会を行いました。内容は手品・民謡・体操・舞踊・太鼓・南京玉すだれ等の催し物でした。入居者様は、上演中誰も立席することなく鑑賞されており、聞き覚えのある民謡では一緒に歌う姿もみられました。その中でも南京玉すだれは皆様大変喜ばれ、真剣にご覧になっていました。「南京玉すだれなんて久しぶりに見た。楽しかった。」などの声が聞かれ大変好評でした。



特養グループ活動の報告

足浴で **リフレッシュ**

入居者様は「温かくて気持ちいい」、「くすぐったいけどいいね」と大変喜ばれていました。また、紙芝居は「楽しかったよ」、「懐かしさを感じた」など、大変満足されていました。寒い季節の足浴はより一層温かく感じられたのではないのでしょうか。



幸松婦人会演芸



豊春中央保育園お遊戯会

2月14日、豊春中央保育園の園児が来苑し、歌やダンスを披露して下さいました。一生懸命歌を唄い、ダンスを踊っている園児を見て、多くの入居者様はいつも以上に笑顔が多く、手を叩いて喜ばれていました。まるでご自分の孫やひ孫を見ているかのように「かわいいなー。」と賞賛されていました。園児からたくさんパワーをもらった様子で、お遊戯会が終わった後も、職員に嬉しそうにお話をされていました。入居者様は次回の来苑をとっても楽しみにされているようです。